

2011年3月11日  
東日本大地震・津波・原発事故  
被災地・被災者を覚える礼拝

主催：日本基督教団兵庫教区  
日時：2023年3月11日（金）午後2時～3時  
場所：兵庫教区クリスチャンセンター  
オンライン・ライブ映像配信



---

## 式次第

奏楽者	佐々木咲野加	(東神戸)
司式者	上内鏡子	(神戸イエス団)
説教者	小栗 献	(神戸聖愛)

前 奏

奏楽者

はじめの唱和

主よ、私の叫びをあなたの前に近づけてください。  
あなたの言葉に従って悟らせてください。

私の願いがあなたの前に届きますように。  
あなたの仰せのとおり、私を救い出してください。

主よ、あなたの救いを慕います。  
私の魂が生きてあなたを賛美しますように。

# この地で生きる

作詞 水野隆一

IN NATURE

作曲 小川佳子

1. ゆたか なの し ぜんち やつ まく や け じ こ く  
 2. ここの な の な し かん だ ち も や つ まく や け じ こ く  
 3. つな み が の な し かん だ ち も や つ まく や け じ こ く  
 4. プレ し ん の の あ の う と え に や つ まく や け じ こ く  
 5. じ し ん の の あ の う と え に や つ まく や け じ こ く

リ ア ス か い が ん ち ね つ や お ん せん  
 住 ァ ま か っ い が ん ち ね つ や お ん せん  
 い ァ ま か っ い が ん ち ね つ や お ん せん  
 ぶ ァ ま か っ い が ん ち ね つ や お ん せん

こ の 地 で 生 き る キ リ エ ・ エ レ イ ソン  
 こ の 地 で 生 き る キ リ エ ・ エ レ イ ソン  
 こ の 地 で 生 き る キ リ エ ・ エ レ イ ソン  
 間 の 地 で 生 き だ さい キ リ エ ・ エ レ イ ソン

作曲して下さったお三人も私も、皆さんに、ぜひこの歌を歌ってほしいと願っています。クリエイティブ・コモンズ4.0に基づいて、表示、非営利、改変禁止という条件で、自由に使用を許可します。歌われた際には、ぜひ感想をお聞かせください。  
 クリエイティブ・コモンズについては、以下のサイトをご覧ください。  
<https://creativecommons.jp/licenses/>

リタニー

わたしたちと悲しみを共にしてくださるイエス・キリストと共に母であり父である神に祈りましょう。

神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、不慮の死を迎えた犠牲者たちの声だからです。

**神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。**

神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、愛する人を失った悲しみの中にある人たちの声だからです。

**神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。**

神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、放射能の脅威によって故郷から離れなければならなくなった人々の声だからです。

**神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。**

神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、被災した方々に寄り添うために心を尽くしている人々の声だからです。

**神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。**

恵み豊かな神よ、苦しみと悲しみの中からあなたに叫ぶわたしたちを顧みてください。あなたの慈しみ深いはからいに、いつも心から信頼することができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

**アーメン。**

NCC・カトリック中央協議会

東日本大震災1周年にあたり追悼と再生を願う合同祈祷会式次第より  
一部変更してあります

## エマオのおまえ

♩=84

詞・曲:川上 盾  
東神戸教会こども礼拝のみんな  
(2011年)

1-2. エ マ オ エ マ オ こころがあつくなる — —  
 エ マ オ エ マ オ あのひとにあえる

1. ゆうひのみちを — ともにあるいて あいをとかれた  
 2. おおきなしごとは できないけれど ちいさなことから  
 あのひとと みえないけれど — つながっている  
 コツコツと じぶんのちからで すすんでゆこう

ぼくらはひとりじゃないよ  
 ぼくらはむりよくじゃないよ

(さいごに) エ マ オ エ マ オ みんなにあえる — —  
 エ マ オ エ マ オ おまえにあえる

(くりかえし)

エマオ エマオ こころがあつくなる  
 エマオ エマオ あのひとにあえる

1. 夕陽の道を 共に歩いて  
 愛を説かれた あのひとと  
 見えないけれど つながっている  
 ぼくらはひとりじゃないよ

(くりかえし)

2. 大きなしごとは できないけれど  
 小さなことから コツコツと  
 自分の力で 進んでゆこう  
 ぼくらは無力じゃないよ

(くりかえし)

(さいごに)

エマオ エマオ みんなにあえる  
 エマオ エマオ おまえにあえる

体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様です。なぜなら、私たちは皆、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの霊によって一つの体となるために洗礼(バプテスマ)を受け、皆一つの霊を飲ませてもらったからです。

実際、体は一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるのでしょうか。耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるのでしょうか。もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこで嗅ぎますか。そこで神は、御心のままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。すべてが一つの部分であったら、体はどこにあるのでしょうか。

しかし実際は、多くの部分があっても、体は一つなのです。目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。私たちは、体の中でつまらないと思える部分にかえって尊さを見いだします。実は、格好の悪い部分が、かえって格好の良い姿をしているのです。しかし、格好の良い部分はそうする必要はありません。神は劣っている部分をかえって尊いものとし、体を一つにまとめ上げてくださいました。それは、体の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

日本聖書協会『聖書 聖書協会共同訳』より

説教 見たことのない景色

説教者

黙祷

一同

献金 被災地・被災者へ（被災者生活支援・長田センターを通じて）

# 12. <sup>いの</sup>祈れないあなたのため

詞：宮崎 光

曲：SOMOS DEL SENOR ; Mexican Trad.

D Em7 A7 D

1. い の れ な い あ な た の た め  
 2. も ど せ な い け し き の た ち め  
 3. 立 ち 尽 く す わ た し た ち は

Em7 A7 D

— い の り た い わ た し が い る  
 — も ど ら な い い の ち の た め  
 — く ら や み の つ づ く 日 に も

D11 GM7 A7/G F#m7

— キ リ ス ト に む す ば れ て  
 — キ リ ス ト は 手 を 合 わ せ  
 — キ リ ス ト の と も し び に

Bm7 Em7 G6/A A7 D 1, 2, 3.

— い ま こ こ に と も に い る  
 — い ま こ こ に と も に い る  
 — ゆ く み ち は し め ぎ れ

coda D11 GM7 A7/G F#m7

— キ リ ス ト は い の ら れ る



## とりなしの祈り

すべての造り主、命の源なる神。

あなたは、御手により、この世にあるすべてのものをかたち造り、あなたの息吹を吹き込まれました。

豊かな命の恵みの内に、この世のものはすべて祝福で満ちています。

しかし、あなたの御計らいによって、大地が姿を変え、

山々が揺らぎ、海の中へと沈められる時のあることをわたしたちは思い知らされました。(沈黙)

すべての造り主、命の源なる神よ。

不安に震える冷えた心をあなたの温かい腕に抱きしめてください。

言葉にならない民の心を あなたの言葉で、かたちにしてください。

そして、絶望の涙をあなたの希望の光でぬぐい去ってください。

あなたのみ手は震える心をつにし、叫ぶ祈りを聞き分けてくださいます。

天地創造のはじめから、あなたは祝福された命によって、この世を満たしておられるはずです。(沈黙)

すべての造り主、命の源なる神。

大地や大海を動かすかのごとくに、小さなわたしたちを奮い立たせ、豊かな愛で押し出してください。

大いなる愛の力が、絶望へと向かうことなく確かな希望へと導いてくださるように、

不安の心、淋しい心、震える心を 平安と喜びと勇気の心にしてください。(沈黙)

すべての造り主、命の源なる神よ。

人間の力とはどれほどのものでしょうか。

あなたの一筋の光さえ、造り出すことのできない不完全なわたしたちです。

しかし、裂かれたパン屑からも、12の籠を満たすことがお出来になる方です。(沈黙)

わたしたちの祈りを 被災地で散らされ、今もお苦しむ人々の祈りへとつなげてください。

そして、どうかこの祈りが、遠い西の果てに住まうトルコ東南部とその国境沿いにあるシリア北部の人々の心にもつながりますように。

恐怖と苦しみの叫びが瓦礫の隙間から、聞こえてきます。

あなたの命の息吹をもって、慰めと癒しでその隙間を満たしてください。愛と希望へと導いてください。

わたしたちの主イエス・キリストのみ名によって、切に祈ります。アーメン

(『礼拝と音楽』184号38頁「深い淵の祈り—混乱と絶望の中から祈るために」を参考に作成：上内鏡子)

主の祈り

祝 福

説教者

後 奏  
報 告

奏樂者

-----

**2011年3月11日の東北地方太平洋沖大地震・大津波、  
東京電力福島第一原子力発電所事故から一年の兵庫教区宣言**

1. 東北の被災地、被災者に直接届く支援に幅広い人たちのつながりで力を注いできた兵庫教区及び被災者生活支援・長田センターは、これからもそのつながりを尊重しつつ、支援の働きを継続する。
2. 17年前の兵庫県南部大地震から5年、兵庫教区は「被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白」で、被災の後の歩みで「地域の再生なくしては、教会の復興はあり得ない」を宣教の指針としてきた。2011年3月11日の東北の大地震・大津波の後の被災地、被災者の支援においても、兵庫教区はその告白を基本にしてきた。東北の被災地、被災者の支援にあたって「被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白」を指針としてきた兵庫教区は、これからの支援にあたって「地域の再生なくしては、教会の復興はあり得ない」を支援の基本とする。
3. 2011年3月11日の東北の大地震、大津波の後を生きる人たちの生活すべてを、東京電力福島第一原子力発電所の事故が何よりも難しくしている。兵庫教区は、その事故においても、被災地、被災者に直接届く支援に力を注いできた。これからも、放射能で生活のすべてを奪われ、脅かされ続ける人たちに直接届く支援に力を注ぐ。

第66回／「合同」後43回兵庫教区定期総会採択  
(2012年5月20日～21日)